

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	下部消化管穿孔による敗血症患者に対するボルベン使用の是非 (倫理委員会承認番号：463)
当院の研究責任者 (所属)	野村 明 (医務局麻酔科)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	千葉県救急医療センター麻酔科 稲田 梓、稲葉 晋 千葉県救急医療センター集中治療科 江藤 敏、花岡 勅行、藤芳 直彦 千葉大学医学部附属病院麻酔・疼痛・緩和医療科 高井 啓有
本研究の目的	1. 参加施設の重症敗血症患者への HES 製剤投与の実績を明らかにする。 2. 参加施設で HES 製剤を投与された重症敗血症患者で生存率にどのような影響があったか明らかにする。 3. 参加施設で HES 製剤を投与された重症敗血症患者で腎代替療法率にどのような影響があったか明らかにする。
調査データの 該当期間	2013年1月1日から2018年1月31日
研究の方法 (対象となる方)	君津中央病院、千葉県救急医療センター、千葉大学医学部附属病院に入院となった下部消化管穿孔の緊急手術患者
研究の方法 (使用する情報)	患者背景(性別、年齢、背景疾患)、SOFA スコア、ボルベン®使用量(体重換算)、術後60日以内死亡率、腎機能障害の頻度、人工呼吸期間、ICU 在室期間、水分バランス、昇圧剤使用状況、出血/凝固障害の有無、その他合併症を検討する。
資料・情報の他機関 への提供	本研究が適正に実施されているかを確認するために、上記の各施設の研究責任者に必要な範囲内において資料・情報の提供を行う場合があ

	<p>ります。また、研究成果については今後の治療に役立てるため、学術集会や論文などで、発表、公表させていただくことがあります。</p>
個人情報の取扱い	<p>共同研究者以外の者がアクセスできないようパスワードをかけた上で、セキュリティの高いパソコンで管理していく。共有ファイルには研究担当者しかアクセスできないよう管理を行っていく。</p> <p>個人のデータは匿名化して入力していく。患者リストは別に作成し、連結可能なファイルとして研究責任者がカギ就きロッカー等で厳重に管理を行う。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究において報告すべき利益相反はありません。</p>
お問い合わせ先	<p>千葉大学医学部附属病院麻酔・疼痛・緩和医療科 高井 啓有</p> <p>電話：080-5582-2764</p> <p>Eメール：s08055822764@gmail.com</p>
備考	<p>本研究は千葉県救急医療センターの倫理委員会にて承認されています。また、今後千葉大学医学部附属病院の倫理審査委員会への申請を予定しています。</p>